

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社
(東証プライム：2296)

Meat
Together

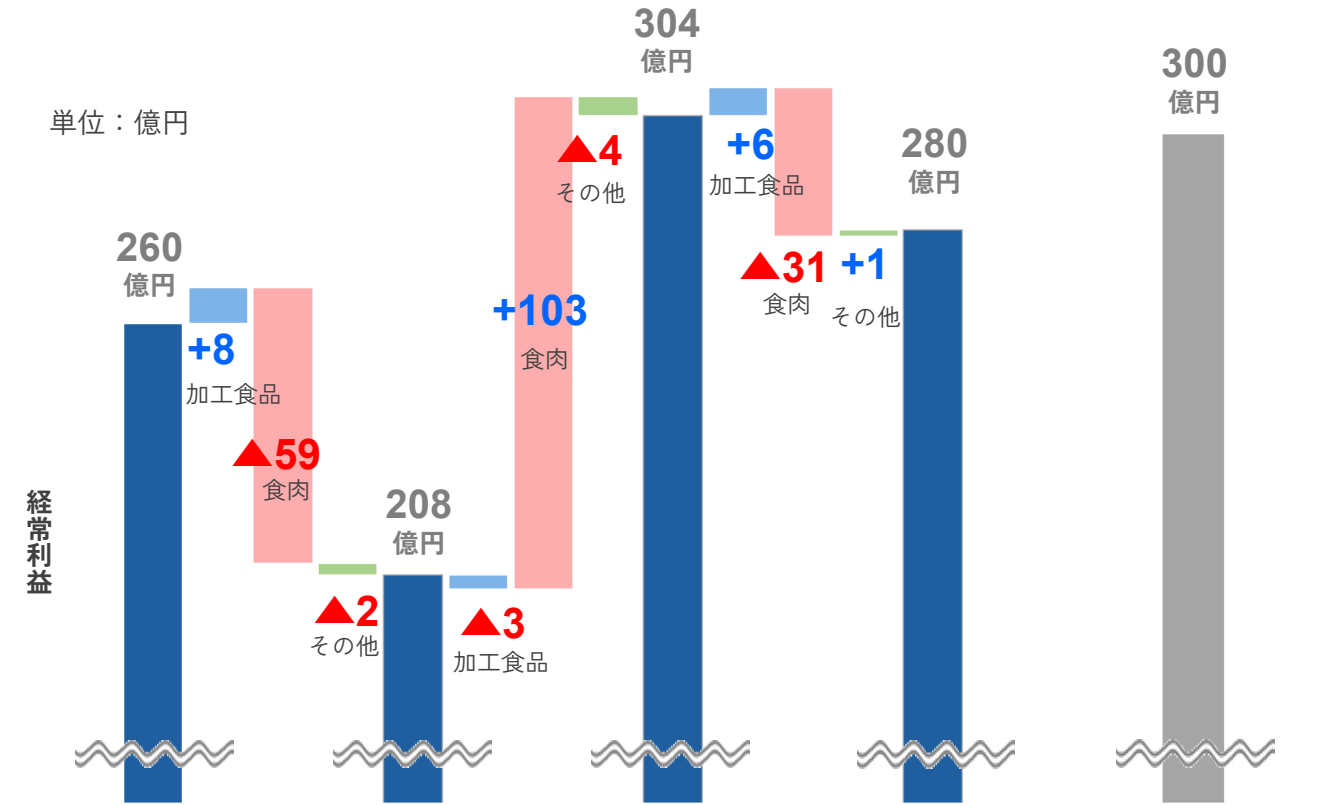
長期経営戦略2035
中期経営計画2026

進捗説明資料

2026年05月08日

[経常利益 期間実績・計画]

- **2024年度**
国内外の食肉相場要因による
マージン圧縮などを受け減益
- **2025年度**
食肉事業の収益改善により
2026年度経常利益目標 300億円
を前倒しで達成
- **2026年度(見通し)**
原材料・物流・ユーティリティ
コスト上昇の影響等を受け
減益見通し



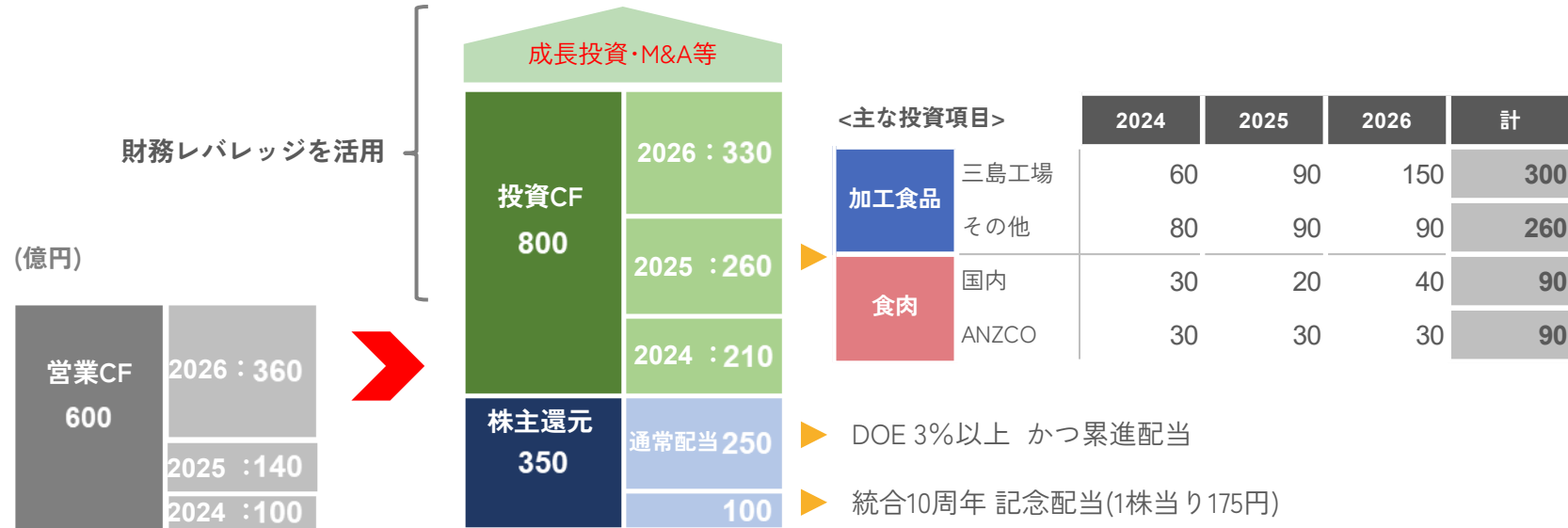
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度 (予想)	2026年度 (中計)
経常利益 (億円)	加工食品	90	97	94	100	120
	食肉	181	123	226	195	200
ROE (%)	全社連結	5.6	4.6	7.0	6.2	6.2
ROIC (%)	全社連結	5.6	4.6	6.2	5.4	5.9
	加工食品	4.8	5.1	4.4	4.3	5.2
	食肉	7.3	4.9	8.7	6.7	8.4

中期経営計画2026進捗

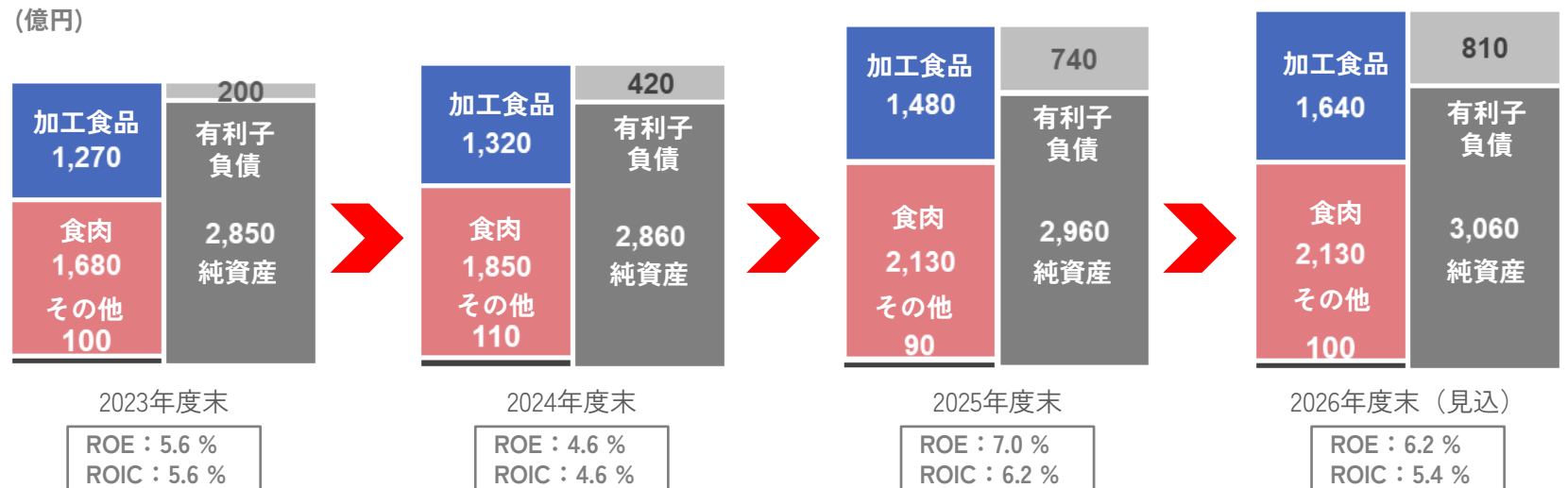
[キャピタルアロケーション]

- ・財務レバレッジを積極的に活用し成長投資と株主還元を強化
- ・加工食品における工場再編・省人化投資や食肉における運転資金負担の増加により投下資本は拡大
- ・収益基盤の強化を通じて、早期のROE8%・ROIC6%台への回復を目指す

キャッシュフロー計画（中計期間 2024～2026年度累計）

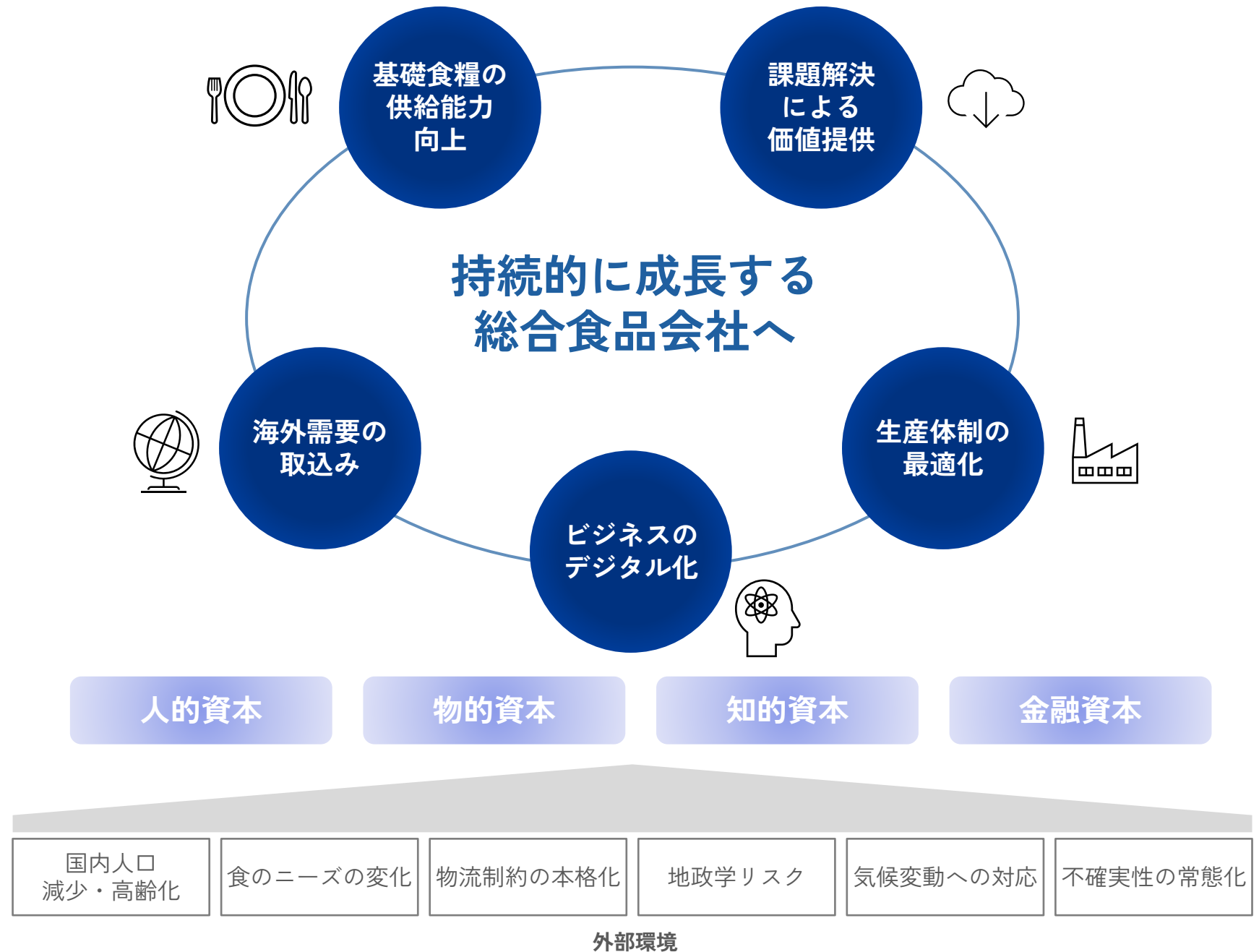


投下資本計画（中計期間 2024～2026年度）



[次期中計に向けて]

- ・ 中計2026定量目標は2025年度に1年前倒しで達成、更なる成長に向けて取組みを加速
- ・ 2026年度は次期中計期間の飛躍に向けた仕込みの年として、各施策の実行に注力



[具体的取り組み]

- 加工食品事業・食肉事業共に、既存事業の基礎収益力は着実に改善

	取り組み項目	進捗状況
加工食品事業	商品新陳代謝の加速	低収益商品の入替促進 <ul style="list-style-type: none"> ・製造アイテム集約により生産・物流効率を改善、低収益商品の入替え促進 ・自社製品数(24年度比)：25年度 4%削減、26年度目標 20%削減
	商品ブランド力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・B2Cコミュニケーション深化(アルトバイエルン、御殿場高原あらびきポーク)
	成長カテゴリー商品拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用冷凍食品の販売強化 ・家庭用冷凍食品売上高：25年度 174億円(計画187億円)、26年度目標 200億円
	生産コストの削減	生産性・歩留改善 <ul style="list-style-type: none"> ・三島新工場を建設、生産ライン自動化・改善活動による製造コスト削減 26年4月建物建設完了・8月試運転開始、27年度フル生産予定 ・26年3月 筑紫ファクトリーを閉鎖し生産集約
	営業・販売手法の差別化	相互販売 <ul style="list-style-type: none"> ・伊藤ハムブランド、米久ブランドの販売連携強化
	飛躍への種蒔き	海外販売強化 <ul style="list-style-type: none"> ・北米CVSバンダー・日系食品工場への販路の開拓、加工品の輸出国増加
食肉事業	リスク管理の高度化	ポジション管理の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・国産豚の調達数量の適正化、取引条件の見直し ・輸入食肉における未成約ポジションの抑制
		調達先拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・疫病・地政学リスク軽減の観点から南米・欧州で拡充
	国内生産事業の強化	と畜・カット拠点強化／和牛輸出の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・十和田ビーフプラント稼働本格化 自社と畜カット比率：23年度 47% → 25年度 52% ・和牛輸出売上高：24年度 42億円 → 25年度 57億円 → 26年度計画 61億円(中計目標 56億円から引上げ)
		副産物の利益拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・十和田ビーフプラントによる牛内臓の販売増加 ・サンキョーミートによるエキス製造事業を開始、27年生産販売開始予定
		未加熱加工食肉 <ul style="list-style-type: none"> ・生産ラインを集約し採算性の高いアイテムに集中 ・25年4月 札幌パックセンターを閉鎖し生産集約
		生産能力拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・養鶏事業の拡張により27年度に年間処理羽数1,500万羽に
		海外生産事業の強化 <ul style="list-style-type: none"> 生産性改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ANZCO事業 羊肉の自動脱骨機導入による省人・効率化

*meat
together*

ITOHAM YONEKYU HOLDINGS
Group Slogan 2035

お問合せ先

〒153-8587 東京都目黒区三田1-6-21 アルト伊藤ビル
伊藤ハム米久ホールディングス株式会社
IR室
電話：03-5723-6892

会社HPからもお問合せいただけます。

<https://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

本資料において掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略等のうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。
従いまして、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものであることをご承知おきください。
なお、本資料の情報は投資家の皆様に当社への理解を深めていただくことを目的とするものであり、投資勧誘を行うものではありません。
また、掲載された内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん等があった場合、さらにデータのダウンロード等によって障害が生じた場合に関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。